

時期 10月～5月

伊豆太陽地区の白浜では、さんまを塩や酢に漬け3～4日以上の手間をかけて仕込みをする「さんま寿司」が古くから郷土料理として受け継がれています。祭典の時や祝いの席には欠かせない料理となっており、各家庭で代々引き継がれた味があります。

女性部伊豆太陽地区本部の部員の中には、白浜の郷土料理を多くの人に味わってもらうため、JA直売所やイベント時などに「さんま寿司」を出品している部員もあり、来店客に大好評です。

# さんま寿司

郷土料理

白浜の



# 風土Food

## 白浜のさんま寿司



女性部員が手間暇かけて作っています！



バーナーで炙って仕上げた炙りさんま寿司もおすすめ！！

### 作り方

- さんまの頭を落とし、背開きにして中骨を取る。
- 塩をふり12時間ほどおく。
- さんまの塩を落とし、腹の部分の小骨をきれいに取りながら、30～40分ほど塩出しをする。
- 酢に8時間漬け込む。(時々返す)
- 酢から上げ、さんまの両面に砂糖をまぶし、時々返ししながら砂糖が溶けるまで8時間おく。
- 合わせ酢を作る。
- ごはん⑤と⑥の合わせ酢70ccを混ぜ合わせる。
- 生姜にサッとお湯をかけ酢に漬ける。
- ⑤のさんまに⑦の酢飯のをせ、背を上にして形を作り、その上に⑧の生姜のをせる。
- 押しずし用の箱に⑨を詰め、2kgの重しをして8時間ほどおく。
- ⑨を箱から出し、8切りに切る。

### 材料 (5本分)

- 生さんま..... 5本
- 塩..... 300g
- 酢..... 500cc
- 砂糖..... 150g
- ごはん..... 2合
- 生姜(スライス)..... 6枚
- 《合わせ酢》
- 米酢..... 44cc
- 砂糖..... 40g
- 塩..... 4g
- 《手酢》
- 酢と水を1：1の割合

女性部伊豆太陽地区本部が  
開催している展示即売会  
「太陽広場」でも販売

「稲取漁港直売所  
こらっしえ」でも販売



### 稲取漁港直売所 こらっしえ



稲取漁港直売所 こらっしえ  
【住所】〒413-0411 賀茂郡東伊豆町稲取 3352  
【営業時間】8:30～15:00  
【お問い合わせ先】0557-95-2023  
【定休日】第2火曜日、12月31日



TOPIC  
2/16

## 電動カート 試乗会



電動カートの説明を  
受ける来店客



伊豆太陽地区購買課とフジ医療器は、下田支店で電動カートの試乗会を開きました。

電動カートは、歩行が困難になった方や体力的に長い時間歩くことが困難になった高齢者をサポートする乗り物として活躍が期待されています。

支店の前には電動カート2台が並び、来店客が足を止め担当者の説明に耳を傾け実際に試乗し、電動カートの乗り心地や安全性、操作方法などを確認していました。「きこえの相談日」を同時開催し、最新デジタル補聴器のお試しも行いました。

TOPIC  
2/7・8

## 女性部展示・ 即売会「太陽広場」



手芸品を見る  
来店客



女性部伊豆太陽地区本部は、白浜支店の旧購買スペースで展示即売会「太陽広場」を開きました。空きスペースの有効活用と女性部活動のPR、新規女性部員獲得を目的に女性部員が制作したつるしびなの展示をはじめ、小物やリメイク品などの手芸品、ジャムや焼き肉のたれなどの食品加工品、新鮮野菜などを販売。開店前からお客さまが列を作るほど大盛況でした。

2月21日22日には旧大田子店でも展示・即売会を行いました。今後も継続的に開催する予定です。

TOPIC  
1/10~17

## 農業用廃棄 ビニール・ 農薬空容器を回収



ビニールを下ろす  
職員



伊豆太陽地区購買課は、農業用廃棄ビニールと農薬空容器(ビン・缶・プラスチック)の回収を行い、主に柑橘や花卉、イチゴの生産者らが営農経済センターや第一共選場等に持ち込みました。

産業廃棄物の不法投棄や野焼き、焼却所への持ち込みを防ぎ農業資材の適切な処分を目的に行っています。

17日、第一共選場にはビニールを積んだ軽トラックなどが次々に訪れ、組合員やJA職員が積み下ろしや分別作業に追われ令和4年度に回収した数量は、資材や燃油高騰の影響で前年対比85%の約18tでした。

TOPIC  
1/13

## 東伊豆町花卉園芸組合 園地巡回



生育状況を  
確認する生産者



東伊豆町花卉園芸組合(山田巧組合長)は、カーネーション・草物の班に分かれて、各生産者のほ場を巡回し、今後の需害期に向けて生育状況の確認を生産者同士で行いました。

令和4年度産は、生育期の曇天や年末からの冷え込みなどが心配されましたが、生育はおおむね順調で需害期にも十分出荷できる見込みです。今後は、ダニや病気などに注意し適期防除を行い、高品質な切花が出荷できるよう、栽培管理の徹底を呼びかけました。1月10日には、河津花卉組合カーネーション部会も巡回し、生育調査を行いました。

February

# 伊豆太陽地区 NEWS

January

TOPIC  
2/27

## 暖候期 イチゴ目ぞろえ会



出荷基準を  
確認する生産者



伊豆太陽地区東部地区いちご委員会(鈴木長敏 委員長)は、河津町の農産物集送センターで暖候期に向けたイチゴの目ぞろえ会を開き、生産者やJA職員26人が参加しました。

担当者が詰め方や着色基準、出荷時の注意点を説明。生産者は規格表やサンプルを見て再確認しました。

鈴木委員長は「資材の高騰や寒波、曇天が続きみんな大変な思いをしていると思いますが、体には十分気を付けて乗り切りましょう」と呼びかけました。出荷は5月末までの見込みです。

TOPIC  
2/21

## 「河津桜」の カップフラワーを制作



カップフラワーを  
作る生徒



静岡県立下田高等学校南伊豆分校1年生13人が「河津桜」の枝を使ったカップフラワーを作り、2月28日の卒業式で卒業生に贈りました。

地域資源の活用と活性化を目的に、南伊豆町の河川敷に植えられている「河津桜」の不要な枝をせん定し、枝物として出荷をする「河津桜プロジェクト」の第2弾で、同プロジェクトに賛同した地域住民やJA職員3人が講師となり、せん定した枝やミリオグラタスを使いカップフラワーを作りました。

TOPIC  
1/26

## 相続・遺言セミナー



説明を聞く参加者



伊豆太陽地区本部と河津桜支店、稲取支店では伊豆太陽地区初の相続・遺言セミナーを開き、組合員や利用者22人が参加しました。

本店金融相談課の職員が講師となり、相続事情や相続手続きについて、遺言の必要性や実際に遺言書を作成した人の事例を紹介、説明を行いました。

今後は各支店の職員が講師となり開催できるよう、多くの職員も参加し学びました。

TOPIC  
1/23・24

## 女性部 陶芸クラブ



削り作業をする  
女性部員



女性部伊豆太陽地区本部は、旧柿崎店で「(福) 覆育会 すぎのこ作業所」の土屋研二郎さんを講師に招き陶芸クラブを行い、8人が参加しました。

部員は粘土を使い、仕上がりイメージしながらお皿や湯飲み、花瓶など大きささまざまな物を思い思いに2日間かけて制作。1日目は制作、2日目は削り作業を行い、すぎのこ作業所で乾燥後、釉薬をかけて2月20日に火入れ、25日に取り出しました。完成した作品は部員の元へ配りました。